

令和8年8月末現在における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中の運転により起こした人身事故を分析したものです。

注1：物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。

注2：安管事業所の従業員が起こした事故であっても、買物やレジャーなどプライベートな業務中の事故の数値は含まれていません。

注3：他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

注4 本文と各グラフの構成率（％）は表記以外の数値を四捨五入しているため、各構成率の和が100％にならない場合があります。

1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路 線 名	第 1 当 事 者	第 2 当 事 者	通行目的
1	1月8日（木） 17:22	茂原市 木崎	市道	職業運転者 40歳代（男） 普貨	80歳代（女） 歩行者【死亡】	通勤
2	1月30日（金） 4:47	千葉市稲毛区 長沼原町	市道	製造業 50歳代（男） 原付【死亡】	40歳代（男） 中貨	通勤
3	2月8日（日） 17:52	船橋市 浜町	市道	建設業 50歳代（男） 普貨	70歳代（男） 自転車【死亡】	通勤
4	4月7日（火） 18:07	香取市 竹之内	県道	医療・福祉業 30歳代（女） 普乗	90歳代（女） 歩行者【死亡】	通勤
5	8月13日（木） 18:34	野田市 岡田	市道	製造業 50歳代（男） 軽乗	20歳代（女） 歩行者【死亡】	通勤
6	9月18日（金） 13:54	銚子市 唐子町	国道	建設業 10歳代（男） 普乗	50歳代（男） 自二【死亡】	業務
7	9月23日（水） 7:43	山武市 松尾町	県道	医療・福祉業 60歳代（女） 軽乗	80歳代（女） 自転車【死亡】	通勤

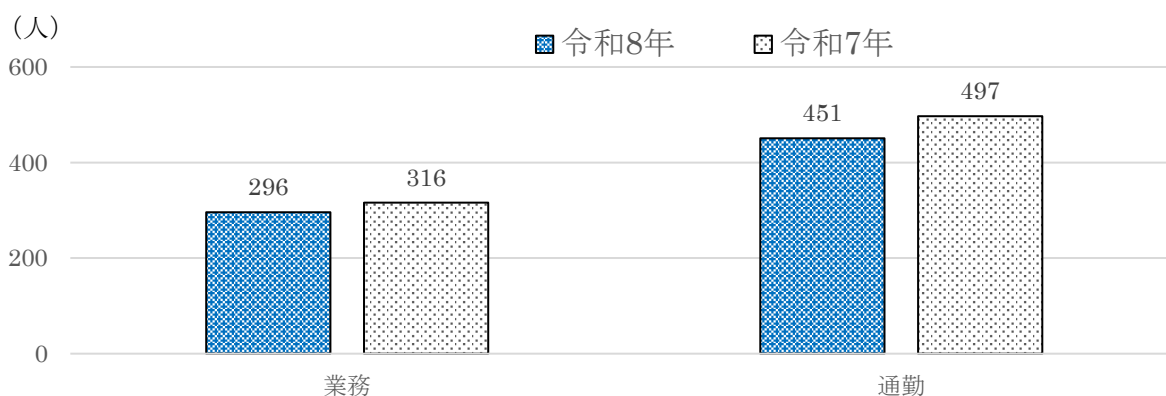
- （1） 令和8年8月末現在の安全運転管理者選任事業所の交通死亡事故は7件、死者数は7人であり、令和7年同期に比べ発生件数は1件増加し、死者数も1人増加しています。
- （2） 死亡事故7件中6件が通勤中に発生しています。
- （3） 死者7人中4人が高齢者で、自転車乗車中が2人、歩行者が2人でした。

2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		8月中				累 計			
		令和8年	令和7年	増減数	増減率	令和8年	令和7年	増減数	増減率
発 生 件 数		77	85	-8	-9.4	747	813	-66	-8.1
昼	日の出1時間後	1	2	-1	-50.0	37	37	0	0.0
	そ の 他 昼	62	68	-6	-8.8	479	510	-31	-6.1
	日の入1時間前	3	6	-3	-50.0	49	58	-9	-15.5
	昼 計	66	76	-10	-13.2	565	605	-40	-6.6
夜	日の入1時間後	5	2	3	150.0	61	64	-3	-4.7
	そ の 他 夜	6	7	-1	-14.3	112	129	-17	-13.2
	日の出1時間前	0	0	0	0.0	9	15	-6	-40.0
	夜 計	11	9	2	22.2	182	208	-26	-12.5
死 者 数		1	0	1	0.0	5	4	1	25.0
負傷者数		85	122	-37	-30.3	854	992	-138	-13.9
重傷者数		13	14	-1	-7.1	89	88	1	1.1
軽傷者数		72	108	-36	-33.3	765	904	-139	-15.4

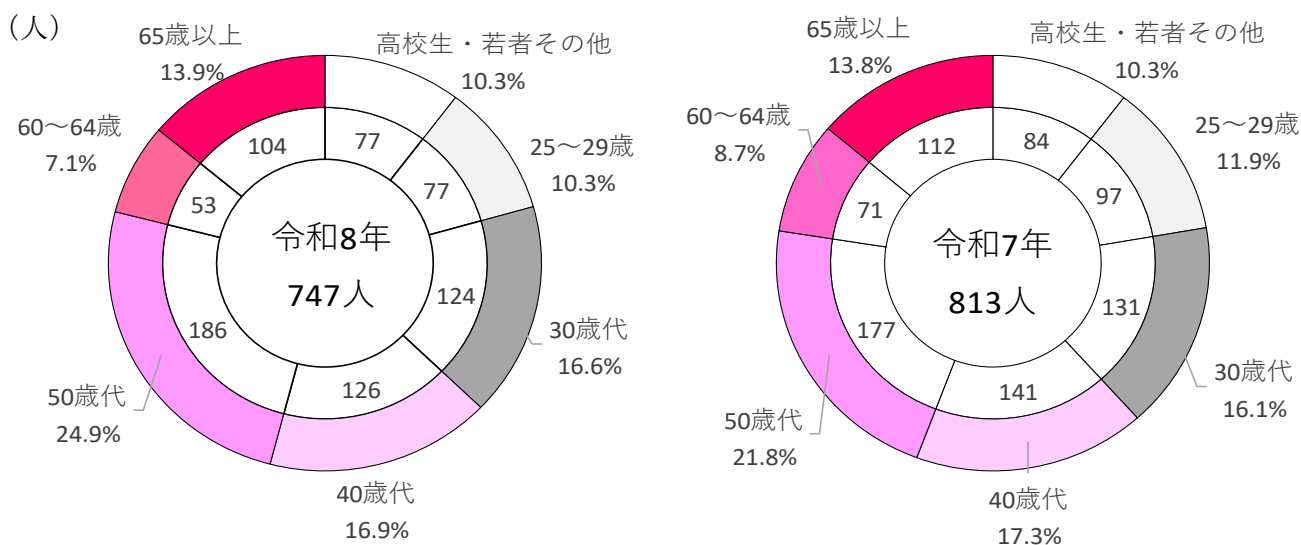
令和8年中における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、令和7年中に比べ発生件数が747件（-66件）、負傷者数は854人（-138人）と減少しています。

3 第1当事者の運行目的別発生状況



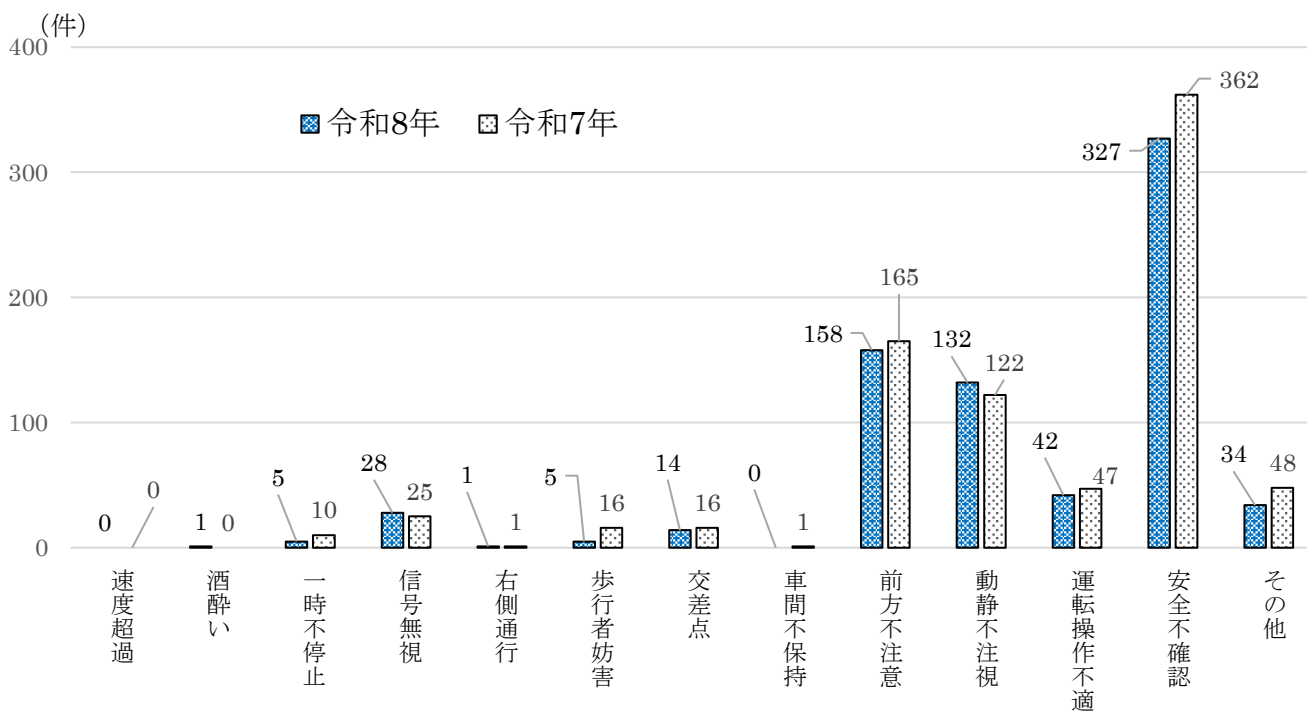
運行目的別では業務中より通勤中の事故の方が多くなっています。マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

4 第1当事者の年齢層別発生状況



事故の第1当事者となった高齢者（65歳以上）は104人、（令和8年全体の13.9%）でした。高齢化社会の進展に伴い、事業所の高齢ドライバーも増加していく傾向にありますので、高齢者の特性を踏まえた事故防止対策を推進してください。

5 第1当事者の違反・原因別発生状況



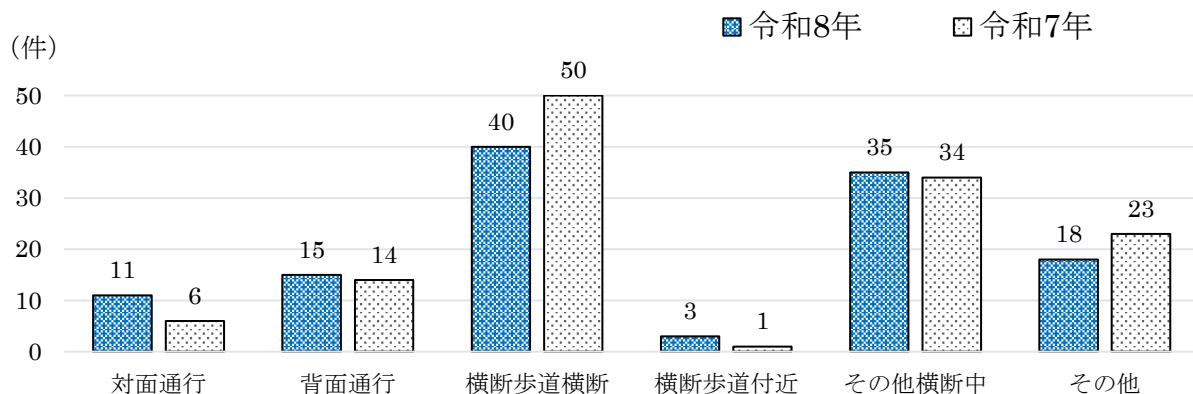
酒酔い運転の事故が1件発生しています。アルコールチェックを確実にし、飲酒運転の根絶に努めてください。

事故原因は、前方不注意、動静不注視、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計659件で事故原因の88.2%を占めています。

注1：酒気帯び運転は事故原因として計上されていません。また、運行目的がレジャーや買物などプライベートな場合は計上されていません。

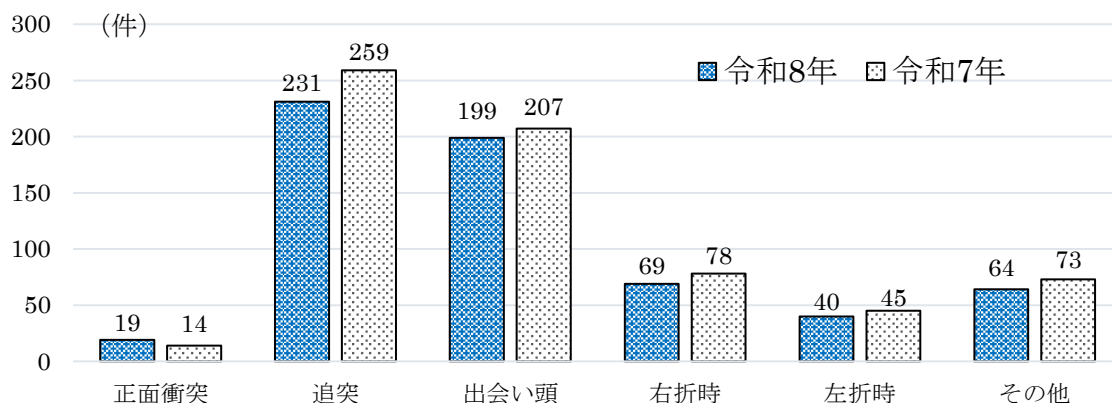
6 事故類型別発生状況

(1) 人対車両 (令和8年計 122 件)



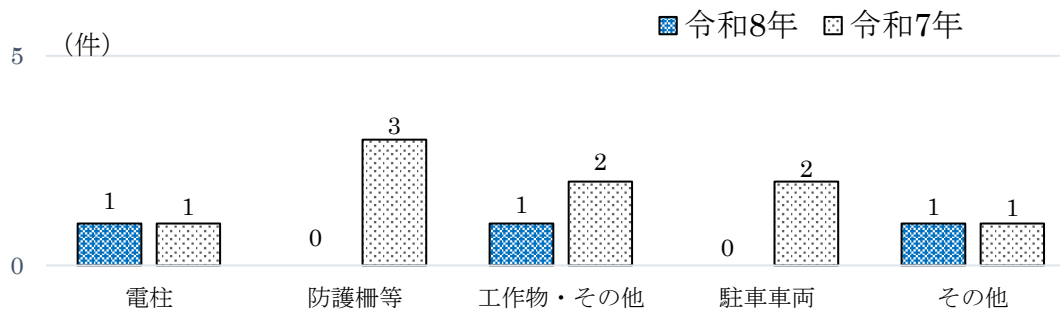
横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき対象ですが、人対車両事故 122 件中、横断歩道横断中の事故が 40 件 32.8%と最も多く、これは令和8年中の安全運転管理者選任事業所の交通事故発生数（全事故）の 5.4%となっています。横断中の歩行者の発見が遅れることがないよう、交差点を右折又は左折する際は歩行者の有無に注意するよう指導してください。

(2) 車両相互 (令和8年計 622 件)



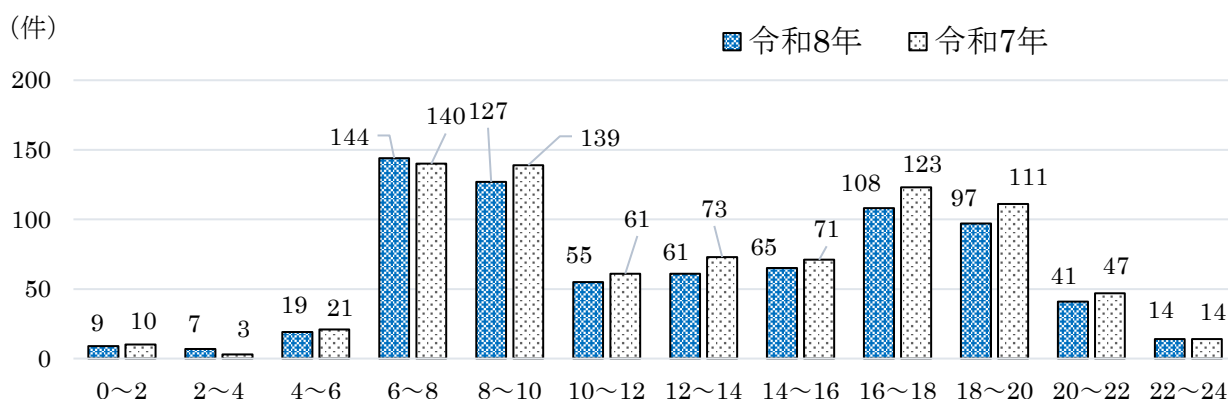
車両相互の事故 622 件中、最も多かった事故形態は追突事故で全事故の 30.9%、前年比－28 件でした。次に多かったのは出会い頭事故で 199 件、全事故の 26.6%、前年比－8 件です。出会い頭事故は追突事故に比べ重傷事故になりやすいので、信号機のない交差点では交通法令に従い、徐行または一時停止と安全確認を確実に実施してください。

(3) 車両単独 (令和8年計 3 件)



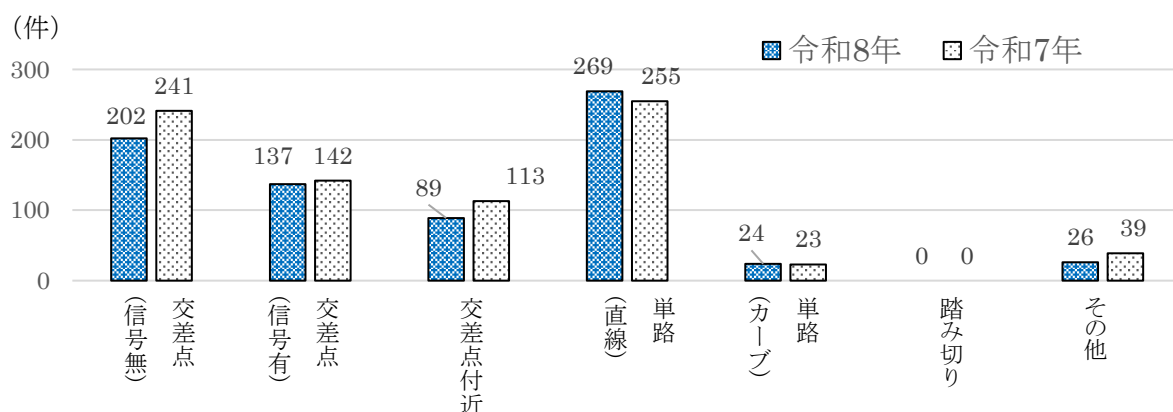
単独事故は 3 件（前年比－6 件）でした。

7 時間帯別発生状況



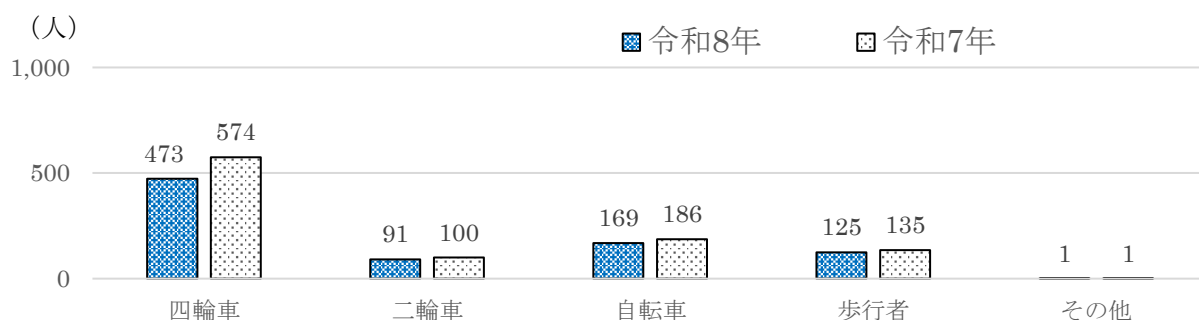
時間帯別で最も多かったのは、6時から8時までの時間帯で144件（全事故の19.3%、前年比+4件）でした。また、6時から10時までの時間帯に271件（同36.3%、前年比-8件）、16時から20時までの時間帯に205件、（同27.4%、前年比-29件）の事故が発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

8 道路形状別発生状況



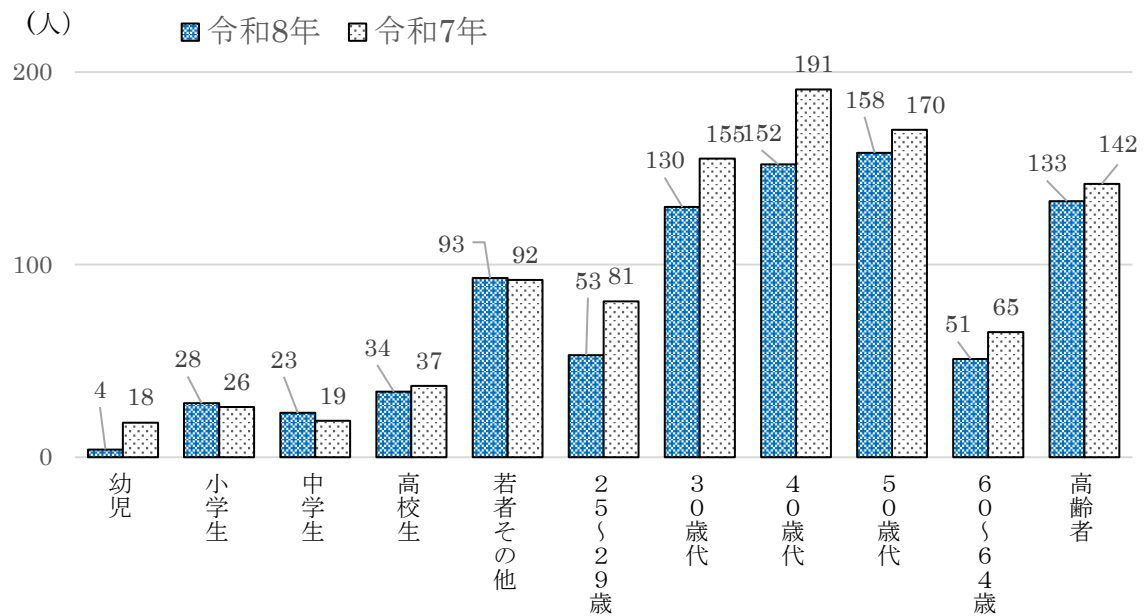
道路形状別では、単路（直線）が269件と最も多くなっていますが、交差点事故（信号無及び信号有）の合計は339件、前年比-44件で、全事故の45.4%を占めています。

9 死傷者の状態別発生状況



死傷者の状態別では、四輪車乗車中が最も多く473人（全事故の55.1%、前年比-101人）、次いで自転車の169人（同19.7%、同-15人）でした。歩行者の死傷者数は125人（同14.6%、同-10人）ですが、死者は3人で、歩行者の死傷者の内、約41.7人に1人が亡くなっています。対歩行者事故は横断歩道横断中が最も多く、全事故の5.4%を占めています。ゼブラストップ運動の推進に努めてください。

10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは50歳代の158人（死傷者の18.4%、前年比－12人）でした。